

春日小学校区

春日小学校区 ワークショップ実施概要

| | | | |
|---------------|--|----------------------------------|------|
| テーマ | まちの課題からこれからの春日校区の魅力的な取組を考える 3 日間 | | |
| 実施内容 | 第 1 回 | 令和元年 11 月 15 日（金） 19 時-21 時 | 15 人 |
| | | これからのより良い春日校区づくりに向けてまちの論点を出し合おう！ | |
| | 第 2 回 | 令和元年 11 月 29 日（金） 19 時-21 時 | 13 人 |
| | | 出てきたまちの論点からやりたいことを考える | |
| | 第 3 回 | 令和元年 12 月 20 日（金） 19 時-21 時 | 15 人 |
| | | やりたいことの企画づくり | |
| 結果概要 | <p>以下の3点について具体的な取組んでいきたいという結論に達した。</p> <p>(1) 災害に備えたプロジェクトチームの創設と多世代リーダー育成</p> <p>(2) 誰もが面白いことにチャレンジできる地域にするための、次世代との関係性を生むための仕組みづくり</p> <p>(3) もっと関わりやすい自治会のある地域づくり</p> <p>○できることからチャレンジしよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春日Tシャツ（スタッフTシャツ）を作る。 →デザインはPTAの若い世代が検討 ・自主防災があってないようなものなので、強化したい。 →上穂積公園で防災訓練・炊き出しを実施！ ・自治会の会員証を作成し優待制度を構築 <p>○「どんなまちにしたい！」を念頭に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の会議の際には、「どんなまちにしたい」ということを念頭に会議を行うことを徹底し、人材育成・人材確保に努めていく。 | | |
| 来年度以降 に向けて | <ul style="list-style-type: none"> ・今後については、第3回で出てきた具体的な取組みの実施に向けて、協議会の中で優先順位と重要度、取組みやすさなどで分けた上で、どれから取り組むかどうかを協議する時間を設けることが必要。 ・当初予定していたよりも参加人数が少なかったこともあり、春日校区の総意とするためにはもう少し参加者の属性の幅を広げ、一部の人たちが声を上げるのではなく、より多くの住民の参加と賛同を得るための場づくりも同時に行う必要がある。 | | |

【WSの様子：写真】

第1回



第2回



第3回



春日校区ワークショップ まとめ

まちとしごと総合研究所
岡本卓也

第1回ワークショップのまとめ

第1回は、**まちの論点を出し合う**をテーマに、

- ・春日校区における困りごとや気になっていること
- ・今後も残していきたいことやあった方がいいこと

などを話し合いました。

今の春日校区とこれからの春日校区についても、
思いを巡らせていきました。

“創りたい春日校区のより良い未来”をテーマに、 3つのキーワードで分かれて話し合いを実施



各テーブルで出てきた意見のまとめ

春日校区の現状や困りごとについて

| テーマ | 出てきた意見 |
|-------|---|
| 教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ともども加入率の低下（若い世代の自治会への関わりが少ない） ・ 一部の人が関わっていない ・ 空き家の増加 ・ 渋滞問題がある。公共交通（バスなど）の減少 ・ 若い世代は働きに行っていると地域を知らないこともある ・ 違う世代同士の繋がりが少ないのではないかと ・ 引きこもりが増えている ・ 進めていることが頓挫・停滞することが多い ・ 「みんなで子育て」を負担に感じる人もいる |
| 福祉・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 近くになんでもある ・ 地域の中で挨拶がなくなってきたりなど、顔見知りになりづらくなっている ・ 公園に子どもがいない ・ スーパーのフードコートが高齢者の居場所になっている ・ 振り込め詐欺が多くなっているが、人に相談できない、情報が入ってこない ・ 災害時、復興が終わっていないが若者はすぐに働きに行かざるを得ない ・ 役員になるのが嫌で自治会を離れる人もいる（役をやりたがらない） ・ そもそも自治会への加入の仕方がわからない |
| 防犯・防災 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 近所にどういう人が住んでいるかわからない ・ 賃貸マンション増加による自治会未加入の増加 ・ 防犯について、取り組みたいことはあるが誰も手を挙げない。きっかけがない ・ 高齢者の避難問題がある（避難がままならない） ・ 避難訓練の形骸化 ・ ペットの同行避難の問題 |

各テーブルで出てきた意見のまとめ

作りたい春日校区の未来

| テーマ | 出てきた意見 |
|-------|--|
| 教育 | <ul style="list-style-type: none">・おもい地域へ！・ITや動画を活用し、活動やコミュニティの様子を共有・やりたいことを出し合える仕組みを作りたい！若い世代が「やってみよう！」と思える地域へ・やりたいことにお金が出る仕組みが必要・面白いことにチャレンジ・参画しやすい距離感がある地域へ・知り合うきっかけを持てるようにしたい・保護者でなくてもみんなで子育てし合える関係性・手伝った人へのご褒美のある仕組み・肯定してくれる、引っ張ってくれる人が身近にいるまち |
| 福祉・生活 | <ul style="list-style-type: none">・高齢者が高齢者の面倒を見るまちをめざしたい・人が集まって出会う場所が必要（つながりの中から自治会への加入につながるかも？）・自治会への受入・相談窓口を設置してはどうか・無理強いせずできる人がやっていく自治会へ。役の負担を軽減・地域は関係なく、個人で入れる制度も作ってはどうか（勤務先が茨木市など）・地域で助け合えて顔なじみの多い地域へ・自治会単位で見守りもできたらいいのかもしれない・放課後子ども教室みたいに子どもたちが集える場がある地域にしたい・誰かが見守ってくれるという安心感のある地域にしたい |
| 防犯・防災 | <ul style="list-style-type: none">・渋滞が起きない道路整備や街灯、OTTAなどの設置をしたい・ペットと一緒に気兼ねなく避難所生活が送れる・子どもが安心して遊べる場所を作る・次世代の担い手（リーダー）育成・パトロールが充実している地域にしたい。見守り隊を持続可能に（有償化も検討）・避難所との情報共有や避難者同士の支え合いが盛んな地域にしたい・どの人とも明るく挨拶ができるまちにしたい・地区のハザードマップと自治会員の名簿を作成したい・組織の構築（防災・防犯に関する）を急ぎ、迅速な対応ができるまちにしたい |

作りたい春日校区の未来

(1) 誰もが面白いことにチャレンジできる地域にしたい！

面白い地域へ／やりたいことを出し合える仕組みを作りたい！若い世代が「やってみよう！」と思える地域へ／面白いことにチャレンジ・参画しやすい距離感がある地域へ／肯定してくれる、引っ張ってくれる人が身近にいるまち

(2) もっと“災害に強い”地域にしたい！

ペットと一緒に気兼ねなく避難所生活が送れる／パトロールが充実している地域にしたい。見守り隊を持続可能に（有償化も検討）／組織の構築（防災・防犯に関する）を急ぎ、迅速な対応ができるまちにしたい／避難所との情報共有や避難者同士の支え合いが盛んな地域にしたい／地区のハザードマップと自治会員の名簿を作成したい

(3) もっと関わりやすい自治会組織のある地域にしたい！

自治会への受入・相談窓口を設置してはどうか／無理強いせずできる人がやっていく自治会へ。役員の負担を軽減／地域は関係なく、個人で入れる制度も作ってはどうか（勤務先が茨木市など）／手伝った人へのご褒美のある仕組み／人が集まって出会う場所が必要（つながりの中から自治会への加入につながるかも？）／ITや動画を活用し、活動やコミュニティの様子を共有してはどうか

(4) 世代を越えて安心して集える地域にしたい！

保護者でなくてもみんなで子育てし合える関係性／知り合うきっかけを持てるようにしたい／高齢者が高齢者の面倒を見るまちを目指したい／地域で助け合えて顔なじみの多い地域へ／放課後子ども教室みたいに子どもたちが集える場がある地域にしたい／誰かが見守ってくれるという安心感のある地域にしたい／子どもが安心して遊べる場所を作る／次世代の担い手（リーダー）育成／どの人とも明るく挨拶ができるまちにしたい

第2回ワークショップのまとめ

第2回は、**出てきたまちの論点から
やりたいことを考える**をテーマに、

1回目に出てきたことをもとに...

- ・より良い春日校区にする為にできることのアイデア出し
を行いました。

実現可能かどうかより、ワクワクするかどうかを基準に
アイデアを出していきました。



4つのテーマから班ごとにテーマを選び
話し合いを実施

各テーブルで出てきた企画やアイデアのまとめ

テーマ：誰もが面白いことにチャレンジできる地域にしたい！

| カテゴリ | 出てきたアイデア |
|--------------------------------|---|
| 「地域を探検しよう！」 良さを発見する | 地域の名所めぐり/街たんけん（ミステリーツアーなど）/校区内施設見学/郡山のみかん狩り/弁天さんの裏山の周遊や肝試し、クワガタ取り/夜のお寺巡り→夜の活用など、新しい魅力が発見できる/地藏盆の夏祭り/スタンプラリー |
| できること できたらいいこと | <上穂積公園に集まるう！～みんなでできる手軽さ> 地域でBBQ（BBQやキャンプファイヤーからの流れからみんなで楽しめるもの）/上穂積公園でキャンプ/学校のプールで魚釣り（プールを活用して魚を泳がせて釣ったり、つかんだり）/公園遊び <季節の中で高齢者も子どもも家族も参加> 秋祭り/子供みこし、練り歩き/お花見大会/地域清掃/田んぼ体験/重機体験（トラクター）/軽スポーツ大会（春日小校区）/大声で叫ぶ大会/地域でマラソンリレー（東海道など街道を想定して） <ナイスなキーワード> 「春日の仲間たち」/地域や人とのつながりを意識するための「挨拶の日」/「〇〇の日」など |
| 誰もがやりたいことを やれるための 仕組みづくり | <どのような仕組みが良いか> 誰もが運営に参画できる/ここにすれば、おもしろいことをやっていると感じる、伝わる/「みんなに」おもしろい情報が伝わる <どうするか> 企画を募集する/地域の場所をつくる/「街かど掲示板」を作る。そこへ行けば誰も見られる、掲示できる/紙媒体での回覧板/紙媒体の設置先としてスーパー、病院、各所掲示板も利用/地域ライブ（みんなで楽しめる） <次世代育成のためのアプローチ> 若者向けにSNSを活用/若者テーマのワークショップ/サイト回覧板、サイト掲示板/地域LINE、地域の友達グループ/中学生、高校生、大学生の巻き込み |

**すぐに取り組みたいこと・取り組めること
（優先順位）**

1. 広報によるつながれるモノを作る

誰もが運営に参画できる「場」「ツール(掲示板やSNS)」の活用など、一緒にやっていける方法を生み出す

2. 協力できる関係性

ツールを駆使して関係性を構築する。楽しいを共有できる関係性がイベントを成功させる

3. 次世代育成（若者の地域参加）

する世代だけでなく、若い世代を巻き込み、様々な世代が楽しめる地域をつくる

各テーブルで出てきた企画やアイデアのまとめ

テーマ：もっと災害に強い地域にしたい！世代を超えて安心して集える地域にしたい！

| カテゴリ | 出てきたアイデア |
|-----------------|--|
| より良い生活へ | <ul style="list-style-type: none"> ・ OTTAシステムの導入(子供の見守りや高齢者の安否確認) ・ 電子マネーまたは地域通貨の普及（高齢者の生活や災害時に安否の確認するための仕組みづくり） ・ 配達、個人宅配業者が高齢者の異変に気付けるような仕組み ・ 徘徊する高齢者がわかるものを身につけて町ぐるみで助け合う |
| 集うための きっかけ作り | <ul style="list-style-type: none"> ・ 平時に顔見知りになっておくことができるよう、きっかけ作りのイベントの開催（子どもの顔だけでなく、親の顔もわかるようにするなど） ・ 今実施している地域事業の中に防災を意識づけできる出し物を入れていく（子育て世代や中高生などの方々にもおもちづくりや炊き出しに最初から参加してもらうなど） ・ 防災実験教室(アウトドアの要素を盛り込んだり若い人が災害について話し合うことができる場) ・ 手作り市の復活 |
| 災害時への備え | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中高生や大学生の力を災害時に活用(物資の運搬・避難誘導・簡単な応急手当など) ・ 若い世代に地域のなかで暮らしていることを意識づける ・ 学校と連携して地域活動へのボランティアの単位化 ・ 若い世代が主体となれるキャンプイベントを通じての災害時の啓発(公園にあるベンチ型コンロの使用など) ・ 若い世代が災害時に活躍できるように多世代のリーダーの育成 |

**すぐに取り組みたいこと・取り組めること
（優先順位）**

1. 部会の中に災害に備えたプロジェクトチームの立上げ・組織化（小規模でOK）

チームの役割を細分化し一人ひとりの負担を軽減させる。組織から災害に対する認識を広げていく

2. 防災・減災のための多世代リーダーの育成

年代ごとに防災/災害の訓練を受けた人を増やしていく。年代ごとにキーマンを作って行こう

各テーブルで出てきた企画やアイデアのまとめ

テーマ：もっと関わりやすい自治会のある地域にしたい！

| カテゴリ | 出てきたアイデア |
|---------------------|---|
| 回覧板や 掲示板について | <ul style="list-style-type: none">・子どもが持って行きたくするような回覧板があればいい・雨に強く、光る回覧板にすれば、子どもが持って行きたくするのでは？ |
| 情報発信について | <ul style="list-style-type: none">・ローカルTVの様な発信をしてもいいかも（「春日チャンネル」の創設）・相談役を設ける事で、「やりたい人」や「やってほしい人」を繋げられる |
| 挨拶について | <ul style="list-style-type: none">・自治会のパッチみたいなのを作って、身につけている人は自治会の人って分かるよと挨拶しやすいかも・非常ベルが鳴った時、家から出てきた人と話せた。たまに鳴らしてみる？（防災訓練と連携？） |
| イベントについて | <ul style="list-style-type: none">・近隣の大学生バンドにお願いしたり、お金をかけたりした方がいい・昼呑みやお散歩のイベントがあると素敵 |
| 役員について (自治会、PTA) | <ul style="list-style-type: none">・自治会加入のメリット(地域のお店の商品券が貰える情報など)があると、回覧板を受け取りたくなくなるかも・子ども会だけのイベント(映画鑑賞、ポーリング、クリスマス会)を開催する・やらなくてもいい期間(入ってから2年間など)をつくることで、人間関係が出来てきて、出来ることないかな？と意識が変わっていくかもしれない・役員免除期間(介護中など)があれば、辞めずに済む場合もある・役員手当があれば納得して取り組める人もいる |

すぐに取り組みたいこと・取り組めること
(優先順位)

1. 子どもも楽しく回したくなる新しい回覧板・掲示板づくり

雨に強く、光る回覧板・掲示板！

2. ローカルTV「春日チャンネル」の設置

防災・災害について発信したり、ローカルニュースなどを発信

3. 自治会に加わりやすい仕組みづくり（自治会役員免除期間・手当・昼呑みなど）

人間関係ができてから役をやるような仕組みにしていく。

第2回目のまとめ

テーマ：誰もが面白いことにチャレンジできる地域にしたい！

1. 広報によるつながれるモノを作る

2. 協力できる関係性

3. 次世代育成（若者の地域参加）

テーマ：もっと災害に強い地域にしたい！世代を超えて安心して集える地域にしたい！

4. 部会の中に災害に備えたプロジェクトチームの立上げ・組織化（小規模でOK）

5. 防災・減災のための多世代リーダーの育成

テーマ：もっと関わりやすい自治会のある地域にしたい！

6. 子どもも楽しく回したくなる新しい回覧板・掲示板づくり

7. ローカルTV「春日チャンネル」の設置

8. 自治会に加わりやすい仕組みづくり（役員免除期間・手当・昼呑みなど）

第3回ワークショップのまとめ

第3回は、**やりたいことを企画へ**をテーマに、

- ・出てきたアイデアの種を整理し
- ・具体的な行動プラン

を話し合いました。

優先順位や緊急度合いを鑑みたり、
これはどうしてもやりたい！
という思いが強いアイデアを実現に向けて形にしていきました。

第2回目のまとめの中から、掘り下げたいテーマを選出

テーマ：誰もが面白いことにチャレンジできる地域にしたい！

1. 広報によるつながれるモノを作る

2. 協力できる関係性

3. 次世代育成（若者の地域参加）

テーマ：もっと災害に強い地域にしたい！世代を超えて安心して集える地域にしたい！

4. 部会の中に災害に備えたプロジェクトチームの立上げ・組織化（小規模でOK）

5. 防災・減災のための多世代リーダーの育成

テーマ：もっと関わりやすい自治会のある地域にしたい！

6. 子どもも楽しく回したくなる新しい回覧板・掲示板づくり

7. ローカルTV「春日チャンネル」の設置

8. 自治会に加わりやすい仕組みづくり（役員免除期間・手当・昼呑みなど）

テーマ：誰もが面白いことにチャレンジできる地域にしたい！

【次世代（若者）の巻き込みについて】

＜地域リーダーの囲い込み＞

- ・地域の人材を掘り起こす、把握する
- ・挨拶
- ・直接話をする、顔を合わせる
- ・みんなで一緒に楽しむ

＜定期的な合同運営委員会の開催＞

- ・まずは地域協議会が声を上げ、運営
- ・共通の集まる日を決める

HOP

＜リーダーやグループをつくる＞

- ・ふるさと祭りの企画を任せる
- ・世代間交流や連携
- ・企画側へ巻き込む
- ・地域のことを知ることができるイベントの実施

STEP

＜運営委員の中・高・大学生への働きかけ＞

- ・応援メンバーを募る（中・高・一般）
- ・継続するため有償ボランティア、仕事くらいの位置づけ
- ・年2回、合同イベントの開催

JUMP

【次世代へ届ける広報の工夫について】

- ・LINE、HPを作る
- ・閲覧板にQRコード

HOP

- ・地域広報誌、小学校PTA、福祉協議会、公民館などでPR
- ・ネットと紙と掲示

STEP

- ・若い人への発信としてyoutubeチャンネルの作成

JUMP

GOAL

次世代との関係性作りの仕組みづくり
次世代が積極的に活躍している春日校区へ

テーマ：もっと災害に強い地域にしたい！世代を超えて安心して集える地域にしたい！

災害に備えたプロジェクトチームの創設と多世代リーダー育成（小規模からスタート）

＜一体感の醸成＞

- ・春日Tシャツ作成
- ・チーム名決定
案：[春日ONE TEAM]

＜訓練内容の充実＞

- ・バケツリレー
- ・かまどベンチを使う
- ・炊き出し（火起こし）
- ・消防車との写真

HOP

＜防災訓練のエンタメ化＞
(子どもの巻き込み)

- ・防災科学教室
- ・クイズ形式の訓練
- ・スタンプラリー
- ・借り物レース（防災）

STEP

＜防災チームづくり＞

- ・防災食育

＜マンションの巻き込み＞

- ・マンション向け防災訓練
→避難梯子取扱いや
ベランダ区画蹴破り

JUMP

GOAL

防災食育と防災チームづくり
全体を通してチームの人集めを実施

テーマ：もっと関わりやすい自治会のある地域にしたい！

【自治会に関わりやすい仕組みづくり】

<自治会のメリット>

- ・自治会について魅力的に説明するマニュアルを作る
- ・自治会に入ること、見守りや安否確認に繋がる
- ・イベント還元できないエリアは、ゴミ袋を各家庭に配布
- ・バス旅行に付ける（実費3千円）

HOP

<特典をつける>

- ・お礼や手当を用意する
→ふるさと祭等のイベントで使える金券など配布
- ・ふるさと祭などの運営者への特典
- ・役員の免除期間や、免除対象者を作った方がよい

STEP

<自治会カードの普及>

- ・5%引きになるカードを発行協力してほしいお店例
「かまだ」「散髪屋」「大徳屋」「デイ」「ダイワサイクル」
- ・カード発行部数は3千枚くらい
- ・府民センター前の名刺屋さんにお問い合わせ

JUMP

【掲示板などの改善と活用】 掲示板は1つの町に3～5つはあるので、もっと活用していきたい

<掲示板の課題点>

- ・外灯が近くにないエリアは、夜になると掲示物が全く見えなくなってしまう
- ・夜間掲示板が確認できず、朝バタバタしている世代には、情報が届かない

HOP

<課題点の改善について>

- ・ソーラー式のライトで夜は照らせる様にするのはどうか
- ・実際に活用できるものがないか、費用はどれくらいかかるのか、コーナンへ相談していく
- ・回覧板を色分けして急ぎ具合が分かると良いかもしれない

STEP

<掲示板に書いてあると良いこと>

- ・自治会に入るメリット
- ・自治会員を随時募集中であることやその問合わせ先
- ・会長の名前がわかると安心する人もいる
- ・会費が分かりやすく表示されると入りやすいかも
- ・会費払った分は自分に返ってくる安心感
- ・バス旅行や5%引きカード、特典があることについて、チラシで掲示板に貼ったほうが良い

JUMP

GOAL

元気が出る自治会に！
カード(会員証)の作り方と使用について、SC茨木の担当者と相談

全3回ワークショップをふまえた 今後について

- ・災害に備えたプロジェクトチームの創設と多世代リーダー育成
- ・誰もが面白いことにチャレンジできる地域にするための、次世代との関係性を生むための仕組みづくり
- ・もっと関わりやすい自治会のある地域づくり



まず第一歩として、「『春日Tシャツづくり』や『防災訓練・炊き出しの実施』について取り掛かる。」ということになりました

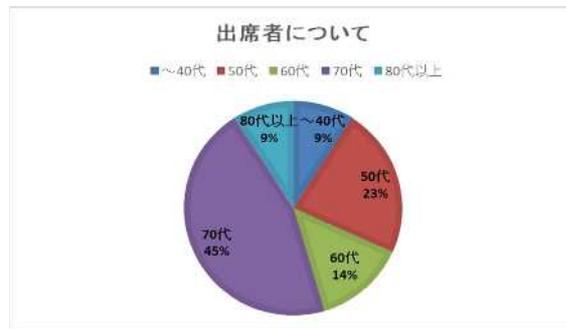
今後については、3回目に出てきた具体的な取り組みの実施に向けて、協議会の中で優先順位と重要度、取り組みやすさなどで分けていき、どれから取り組むかどうかを協議する時間を設けることが必要

また、当初予定していたよりも参加人数が少なかったこともあり、春日校区の総意にしていくにはもう少し参加者の属性の幅を広げ、一部の人たちが声を上げているのではなく、より多くの住民の参加と賛同を得るための場づくりも同時に行っていくことが必要

地域活動の活性化に向けたワークショップ アンケート集計(春日)

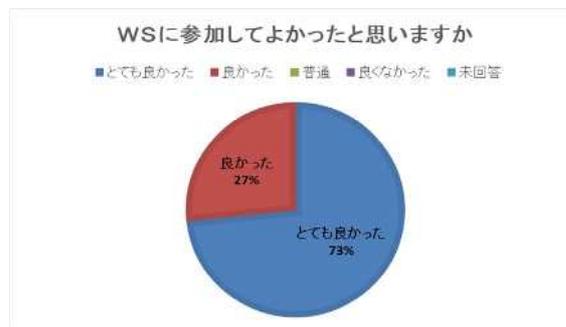
問1 出席者について

| 問1 | 回答数 |
|-------|-----|
| ～40代 | 6 |
| 50代 | 2 |
| 60代 | 4 |
| 70代 | 2 |
| 80代以上 | 1 |



問2 ワークショップに参加して良かったと思いますか。

| 問2 | 回答数 |
|---------|-----|
| とても良かった | 11 |
| 良かった | 4 |
| 普通 | 0 |
| 良くなかった | 0 |
| 未回答 | 0 |

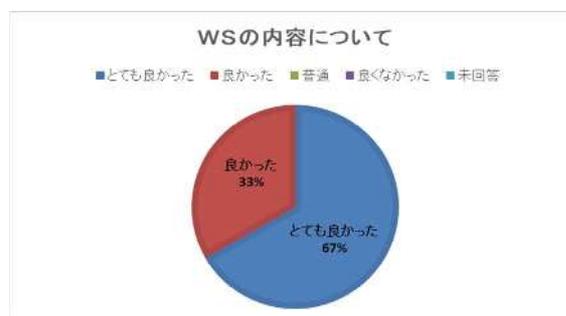


【理由】

- ①自分の考えていたことが違っていなかったこと確認できた。
- ②地域を良くするとの話で今後も続けてほしい。
- ③いろいろな意見が聞けた。
- ④3回のワークショップでより内容が深まった。
- ⑤いろいろな考え方に触れることができ、ファシリテーターにも恵まれました。
- ⑥顔なじみの方々という心が通じ合う雰囲気の中、未来についてお話ができて良かったと思っています。
- ⑦皆さんの考えが思っている事がわかりました。
- ⑧ワンチームと改めて感じた。
- ⑨やりたい事を言う機会をいただいた。
- ⑩皆さんの考えが聞けて良かった。
- ⑪地区の課題と解決策について共有出来た。
- ⑫みなさんといろいろなお話が出来たのしかったです。
- ⑬楽しい考え方ができた

問3 ワークショップの内容について

| 問3 | 回答数 |
|---------|-----|
| とても良かった | 10 |
| 良かった | 5 |
| 普通 | 0 |
| 良くなかった | 0 |
| 未回答 | 0 |



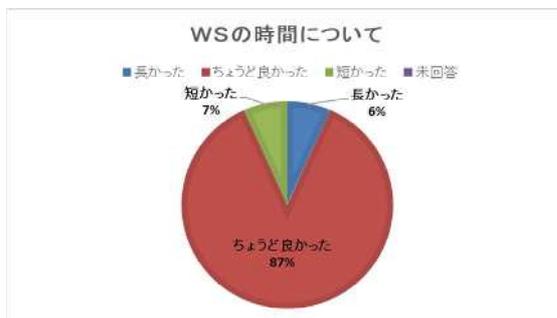
【理由】

- ①リーダーの進行が良かったと思います。
- ②地域の活性化に協力した。
- ③身近のテーマについて話し合えた。
- ④皆、積極的に自分のこととして発言していた。
- ⑤たくさんの気づきになりました。
- ⑥地域に住む人達の未来や思いは前向きになれるテーマで良かったと思います。
- ⑦みじかな事の内容だったので
- ⑧何気なく感じている疑問を少しでも解決できた。
- ⑨地域活性化でつながりをもてると良い内容であった。

- ⑩身じかな問題の内容でさんこうになった。
- ⑪運営のサポートがある事で内容がまとまって進めていけそうな様子がある。
- ⑫「自分の地域」ということで具体的に話がすすんだ。

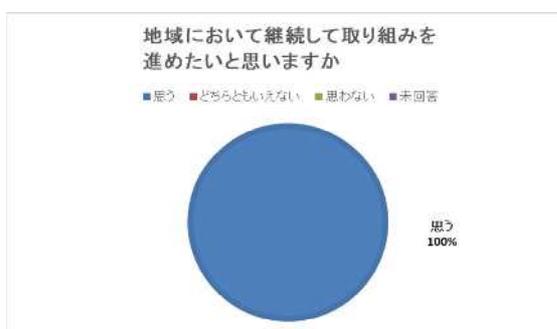
問4 ワークショップの時間について

| 問4 | 回答数 |
|----------|-----|
| 長 かった | 1 |
| ちょうど良かった | 13 |
| 短 かった | 1 |
| 未 回 答 | 0 |



問5 今回のワークショップの経験を生かして、地域において継続して取組を進めたいと思いますか。

| 問5 | 回答数 |
|-----------|-----|
| 思 う | 15 |
| どちらともいえない | 0 |
| 思 わ な い | 0 |
| 未 回 答 | 0 |



問6 今回のワークショップ以外に取り上げたいテーマがあればお聞かせください。

- ①自治会で老人会会員入会に協力してほしい
- ②高齢者の運転について
- ③JR茨木駅西口広場について
- ④教育分野がこれから急速に進み変わっていくので、その対応や力につながるプロセスを話し合ってみたいです。
- ⑤地域中での事は、今回のワークショップで出たように思います。
- ⑥地域で発信していきます。
- ⑦十分意見を言わせていただきました。
- ⑧子育て支援などテーマをしぼったワークショップがあってもいいのかなと思いました。「子育て」についていろいろな世代の方の意見がきけるのでは。

問7 ワークショップの感想などをお聞かせください。

- ①皆さんの考え方が良くわかり、大変参考になりました。
- ②定期的に多くの人の話をきく事が大事と思う。
- ③各団体で活動している方々と有意義な会議が出来た。
- ④1回目はとまどいもあったが、皆、問題意識をもって参加していた。
- ⑤なかなか地区協だけでは、ワークショップを単独ですることは今は難しいので、このような機会(今日参加の方+新しい人たち)を持つきっかけを今しばらく支援していただけたらと思います。
- ⑥この話を少しずつ友達や知人に自慢していきます。
- ⑦3回でしたがとても良かったです。自分の思っている事も言葉に出す事が出来ました。
- ⑧最初はすごく不安であったが、回を重ねるごとにとけた。
- ⑨地域協議会とは違いフリーでテーマを話し合えたことが良かった。新しいことにも取り組めたら良いと思います。
- ⑩意見を参考に、できる事から実施していきたい。
- ⑪実行していくのみです。
- ⑫皆さんの色々な意見が自分と違った面が参考になりました。
- ⑬ゆるく気軽に話ができる人数で良かったです。たくさん話ができただのしかったです。
- ⑭見えていなかった課題に気づくことができた。

参考資料

ワークショップ当日資料等

お席のご案内

ご自由に お座りください。

途中で席を変えて5つの班に分かれて話し合いをします。

地域活動の活性化に向けたワークショップ

これからのより良い春日校区づくりに向けて
まちの論点を出し合おう！



第1回目ワークショップ

2019.11.15 (木) 19:00~21:00

本日の流れ

| 時間 | 内容 |
|--------|----------------------|
| 19:00～ | ご挨拶と趣旨説明 |
| 19:15～ | テーブル内で自己紹介タイム |
| 19:25～ | グループワーク① グループワーク② |
| 20:35～ | 各グループより発表 |
| 20:50～ | 事務連絡／閉会のご挨拶 |

ワークショップ開催の目的

春日校区の地域活動に取り組んでいる皆さんが、お互いのことを知り、これからの**“より良い校区づくり”**づくりに向けて思いを共有し、アイデアを出し合い、より良い春日校区の未来を作るための種をたくさん生み出す。

これからの春日校区を考えるきっかけ・機会にし、さらには自治会や各種団体が協働し、**より良い地域づくりを進める自治協議会**につなげていきたい

ワークショップは全3回！

| 日時 | テーマ | 内容 |
|------------------------------|-------------------------|--|
| 2019年 11/15(金) 19時～21時 | 【まちの論点を出し合う】 | 次の世代の春日校区をより良くする為に、困りごとや気になっていること、今後も残していきたいことやあった方がいいことなどを話し合います。 今の春日校区とこれからの春日校区について思いを巡らせましょう。 |
| 2019年 11/29(金) 19時～21時 | 【出てきたまちの論点からやりたいことを考える】 | 1回目で出てきたことをもとに、より良い春日校区にする為に何ができそうか、アイデアを出していきましょう。 実現可能かどうかより、ワクワクするかどうかを基準にアイデアを出していきましょう。 |
| 2019年 12/20(金) 19時～21時 | 【やりたいことを企画へ】 | 出てきたアイデアの種を整理し、どうすればできるようになるか、具体的な行動プランを考えてみましょう。 優先順位や緊急度合いを鑑みたり、これはどうしてもやりたい！という想いが強いアイデアを実現に向けて形にしていきましょう。 |

時代の変化とともに、 地域自治の取り組みが変わってきている。



地域自治の取り組みを、今の時代または次の時代に
合わせて変えていくことが求められる

みんなで創りたい未来を思い描き、
みんなで未来に向けて行動していく



一部の人だけが考え、創っていくものではなく
一人一人が力を出し合い
実現に向けて進んでいくことが大切

ここにお集まりいただいたみなさんは、
とても意識の高い方々

今日お集まりのみなさんが感じている
「まちの願い」や「まちの困りごと」から、
「こんな未来にしたい！」を
出していきましょう！

話し合いの前に...

グループ分け をします！

いま、関心のあるキーワードの
テーブルに移動してください！

1. 教育

2. 福祉

3. 生活

4. 防犯

5. 防災

一つのテーブルにつき、5名まで！

※多くなったところはすみませんが
第2希望のところへ移動をお願いします

お名前

ご所属

**テーブルのテーマ
について思うこと**

いきなり出し合いましたと言われても…

連想のヒント

- **自分が見たのは～、知っているのは～**
- **こんな勿体無い話があったんだよね～**
- **昔と比べて今はな～**
- **もっとこうなったらいいのに～**
- **これまだうまく活用できてないよね～**

話し合いのエチケット

1. みんなの話は、まずは否定せずふむふむと聞きましょう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話しましょう
3. 思っていることは遠慮せずどんどん言いましょう
4. 一旦、肩書きは忘れましょう！
5. 相手を非難しないよう、尊重し合いましょう
6. 主体的に参加して、楽しみましょう！
7. **今日の意見はここだけ！**

話し合いのテーマ（1）

春日校区の未来を考える前に…

みなさんが感じている 春日校区の現状を共有してみましよう

各テーブルのキーワード毎に、
感じている困りごとや課題やまだできてないことなどを
出し合ってみましよう。

話し合いのテーマ (2)

**みなさんが創りたい
春日校区のより良い未来とは？**

みんなで共有タイム

次回のワークショップについて

日時：2019年11月29日（金）19時～21時

内容：第1回目でてきた未来の実現に向けて、今の春日校区には何が必要か・何が足りないかなどを考えながら、
できることや、やりたいことなどのアイデアを出し合います。

お疲れ様でした！

お席のご案内

ご自由に お座りください。

途中で席を変えて4つの班に分かれて話し合いをします。

地域活動の活性化に向けたワークショップ（第2回目）

出てきたまちの論点から
やりたいことを考える

2019.11.29（金）19:00~21:00

本日の流れ

| 時間 | 内容 |
|--------|----------------------|
| 19:00～ | ご挨拶と趣旨説明 |
| 19:15～ | テーブル内で自己紹介タイム |
| 19:25～ | グループワーク① グループワーク② |
| 20:35～ | 各グループより発表 |
| 20:50～ | 事務連絡／閉会のご挨拶 |

ワークショップ開催の目的

春日校区の地域活動に取り組んでいる皆さんが、お互いのことを知り、これからの**“より良い校区づくり”**づくりに向けて思いを共有し、アイデアを出し合い、より良い春日校区の未来を作るための種をたくさん生み出す。

これからの春日校区を考えるきっかけ・機会にし、さらには自治会や各種団体が協働し、**より良い地域づくりを進める自治協議会**につなげていきたい

ワークショップは全3回！

| 日時 | テーマ | 内容 |
|------------------------------|-------------------------|--|
| 2019年 11/15(金) 19時～21時 | 【まちの論点を出し合う】 | 次の世代の春日校区をより良くする為に、困りごとや気になっていること、今後も残していきたいことやあった方がいいことなどを話し合います。 今の春日校区とこれからの春日校区について思いを巡らせましょう。 |
| 2019年 11/29(金) 19時～21時 | 【出てきたまちの論点からやりたいことを考える】 | 1回目に出てきたことをもとに、より良い春日校区にする為に何ができそうか、アイデアを出していきましょう。 実現可能かどうかより、ワクワクするかどうかを基準にアイデアを出していきましょう。 |
| 2019年 12/20(金) 19時～21時 | 【やりたいことを企画へ】 | 出てきたアイデアの種を整理し、どうすればできるようになるか、具体的な行動プランを考えてみましょう。 優先順位や緊急度合いを鑑みたり、これはどうしてもやりたい！という想いが強いアイデアを実現に向けて形にしていきましょう。 |

話し合いの前に...

前回の振り返り

“創りたい春日校区のより良い未来”をテーマに、 3つのキーワードで分かれて話し合いをしました！



1. 教育

2. 福祉・生活

3. 防犯・防災

各テーブルで出てきた意見のまとめ

春日校区の現状や困りごとについて

| テーマ | 出てきた意見 |
|-------|--|
| 教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会加入率の低下（若い世代の自治会への関わりが少ない） ・一部の人しか関わっていない ・空き家の増加 ・渋滞問題がある。公共交通（バスなど）の減少 ・若い世代は働きに行っていると地域を知らないこともある ・違う世代同士の繋がりが少ないのではないかな ・引きこもりが増えている ・進めていることが頓挫・停滞することが多い ・「みんなで子育て」を負担に感じる人もいる |
| 福祉・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・近くになんでもある ・地域の中で挨拶がなくなってきたりなど、顔見知りになりづらくなっている ・公園に子どもがいない ・スーパーのフードコートが高齢者の居場所になっている。 ・振り込め詐欺が多くなっているが、人に相談できない、情報が入ってこない ・災害時、復興が終わっていないが若者はすぐに働きに行かざるを得ない。 ・役員になるのが嫌で自治会を離れる人もいる（役をやりたいがらない） ・そもそも自治会への加入の仕方がわからない |
| 防犯・防災 | <ul style="list-style-type: none"> ・近所にどういう人が住んでいるかわからない ・自主防災組織の未設立 ・賃貸マンション増加による自治体未加入の増加 ・防犯について、取り組みたいことはあるが誰も手を上げない。きっかけがない ・高齢者の避難問題がある（避難がままならない） ・避難訓練の形骸化 ・ペットの同行避難の問題 |

各テーブルで出てきた意見のまとめ

作りたい春日校区の未来

| テーマ | 出てきた意見 |
|-------|---|
| 教育 | <ul style="list-style-type: none">・おもろい地域へ！・ITや動画を活用し、活動やコミュニティの様子を共有・やりたいことを出し合える仕組みを作りたい！若い世代が「やってみよう！」と思える地域へ・やりたいことにお金が出る仕組みが必要・面白いことにチャレンジ・参画しやすい距離感がある地域へ・知り合うきっかけを持てるようにしたい・保護者でなくてもみんなで子育てしあえる関係性・手伝った人のご褒美の仕組みがあるといい・肯定してくれる、引っ張ってくれる人が身近にいるまち |
| 福祉・生活 | <ul style="list-style-type: none">・高齢者が高齢者の面倒を見るまちを目指したい・人が集まって出会う場所が必要（つながりの中から自治会への加入につながるかも？）・自治会への受入・相談窓口を設置してはどうか・無理強いせずできる人がやっていく自治会へ。役の負担を軽減・地域は関係なく、個人で入れる制度も作ってはどうか（勤務先が茨木市など）・地域で助け合えて顔なじみの多い地域へ・自治会単位で見守りもできたらいいのかもしれない・放課後教室みたいに子どもたちが集える場がある地域にしたい・誰かが見守ってくれるという安心感のある地域にしたい |
| 防犯・防災 | <ul style="list-style-type: none">・渋滞が起きない道路整備や街灯やOTTAなどの設置をしたい・ペットと一緒に気兼ねなく避難所生活が送れる・子どもが安心して遊べる場所を作る・次世代の担い手（リーダー）育成・パトロールが充実している地域にしたい。見守り隊を持続可能に（有償化も検討）・避難所との情報共有や避難者同士の支え合いが盛んな地域にしたい・どの人とも明るく挨拶ができるまちにしたい・地区のハザードマップと自治会員の名簿作成したい・組織の構築（防災・防犯に関する）を急ぎ、迅速な対応ができるまちにしたい |

作りたい春日校区の未来

(1) 誰もが面白いことにチャレンジできる地域にしたい！

面白い地域へ／やりたいことを出し合える仕組みを作りたい！若い世代が「やってみよう！」と思える地域へ／面白いことにチャレンジ・参画しやすい距離感がある地域へ／肯定してくれる、引っ張ってくれる人が身近にいるまち

(2) もっと“災害に強い”地域にしたい！

ペットと一緒に気兼ねなく避難所生活が送れる／パトロールが充実している地域にしたい。見守り隊を持続可能に（有償化も検討）／組織の構築（防災・防犯に関する）を急ぎ、迅速な対応ができるまちにしたい／避難所との情報共有や避難者同士の支え合いが盛んな地域にしたい／地区のハザードマップと自治会員の名簿作成したい

(3) もっと関わりやすい自治会組織のある地域にしたい！

自治会への受入・相談窓口を設置してはどうか／無理強いせずできる人がやっていく自治会へ。役の負担を軽減／地域は関係なく、個人で入れる制度も作ってはどうか（勤務先が茨木市など）／手伝った人のご褒美の仕組みがあるといい／人が集まって出会う場所が必要（つながりの中から自治会への加入につながるかも？）／ITや動画を活用し、活動やコミュニティの様子を共有してはどうか／

(4) 世代を越えて安心して集える地域にしたい！

保護者でなくてもみんなで子育てしあえる関係性／知り合うきっかけを持てるようにしたい／高齢者が高齢者の面倒を見るまちを目指したい／地域で助け合えて顔なじみの多い地域へ／放課後教室みたいに子どもたちが集える場がある地域にしたい／誰かが見守ってくれるという安心感のある地域にしたい／子どもが安心して遊べる場所を作る／次世代の担い手（リーダー）育成／どの人とも明るく挨拶ができるまちにしたい



グループで話し合い！

話し合いたいテーマのテーブルに移動してください！

前のスクリーン

(テーブル1)
誰もが面白いことに
チャレンジできる地域
にしたい！

(テーブル2)
もっと“災害に強い”
地域にしたい！

(テーブル3)
もっと関わりやすい自
治会組織のある地域に
したい！

(テーブル4)
世代を越え安心して集
える地域にしたい！

参考資料

2019年度実施

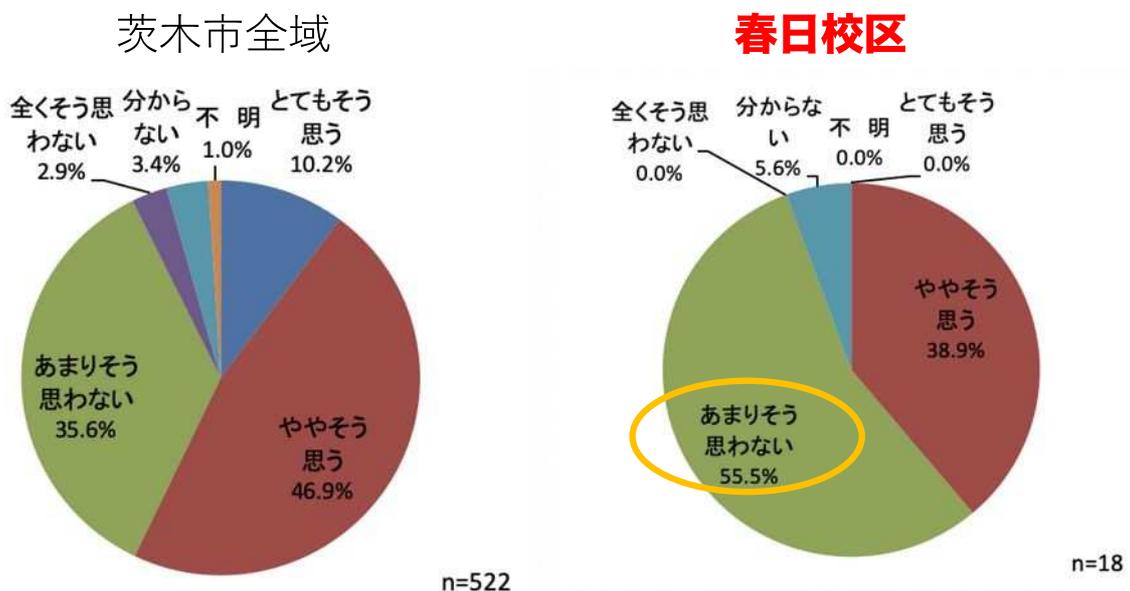
「茨木市地域コミュニティ活性化に関する アンケート結果（速報）」 より一部抜粋

調査概要

- ・ 調査対象：茨木市内の自治会長、地域協議会役員
コミュニティセンター役員
- ・ 調査票送付数：875名
- ・ 回答者数：522名（回収率：59.7%）
- ・ 調査時期：2019年8月～9月
- ・ 調査方法：郵送による送付・返送

茨木市と春日校区の比較

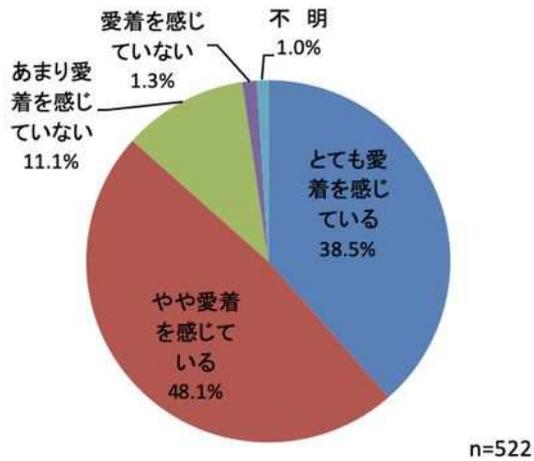
問5 あなたは、地域住民の交流・連携が進んでいると思いますか。



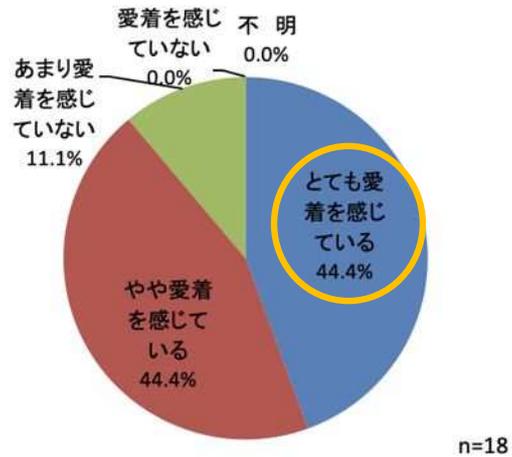
茨木市と春日校区の比較

問8 あなたの住む、または、活動する地域に愛着を感じていますか。

茨木市全域



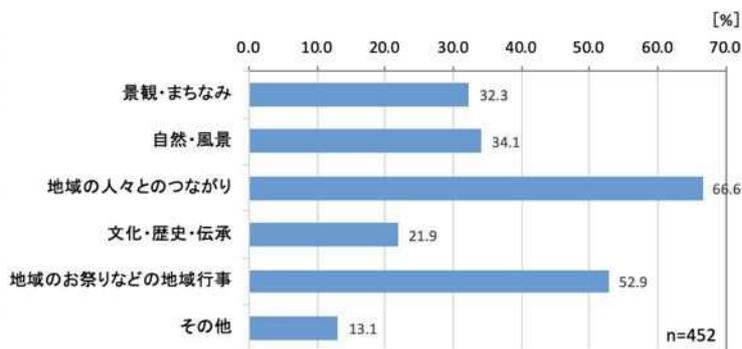
春日校区



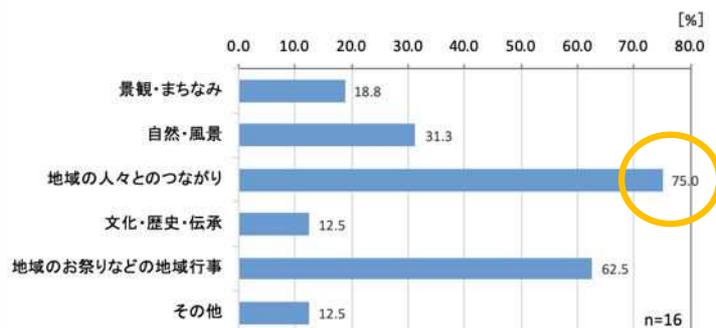
茨木市と春日校区の比較

問9 自分が住む、または、活動する地域のどのようなところに愛着を感じますか。

茨木市全域



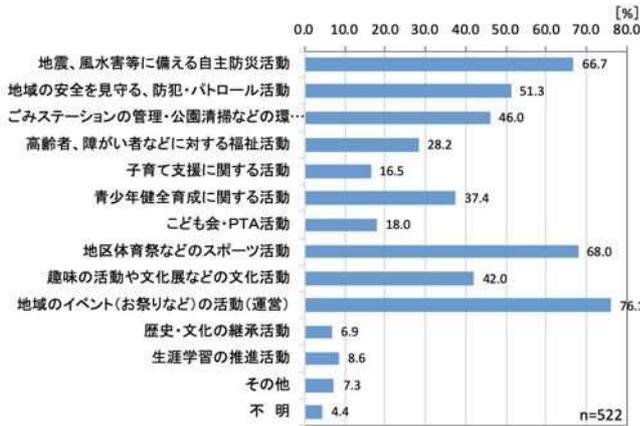
春日校区



茨木市と春日校区の比較

問15-1 あなたは、次にあげる地域コミュニティ活動に参加されていますか。

茨木市全域



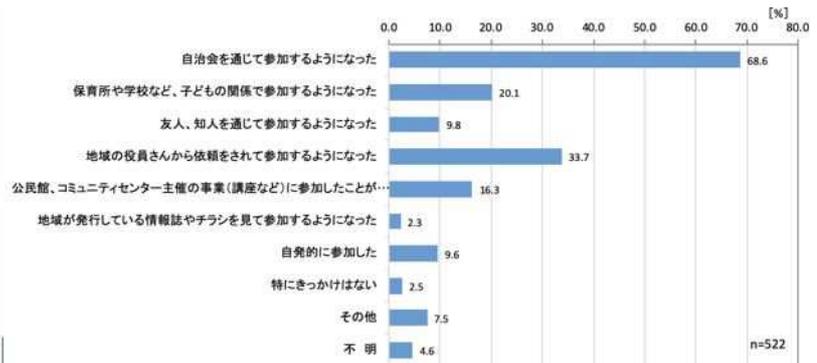
春日校区



茨木市と春日校区の比較

問15-2 地域コミュニティ活動に参加するようになった「きっかけ」

茨木市全域

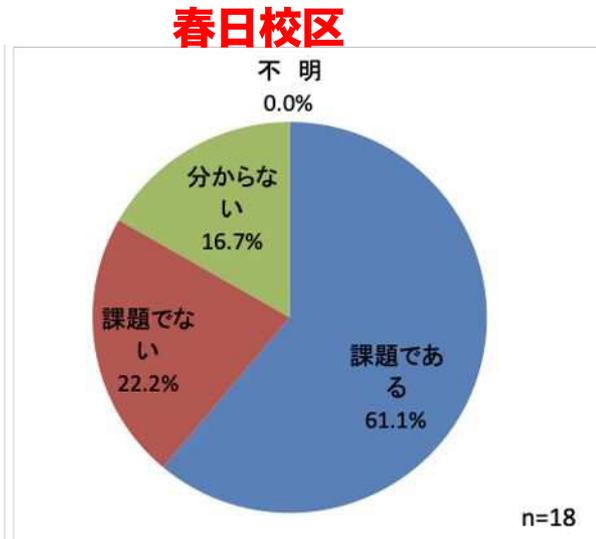
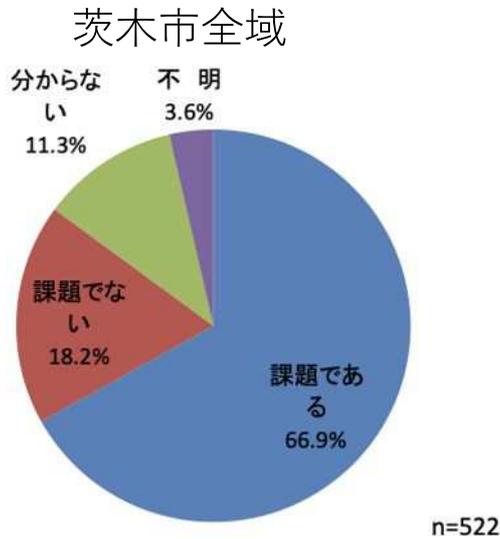


春日校区



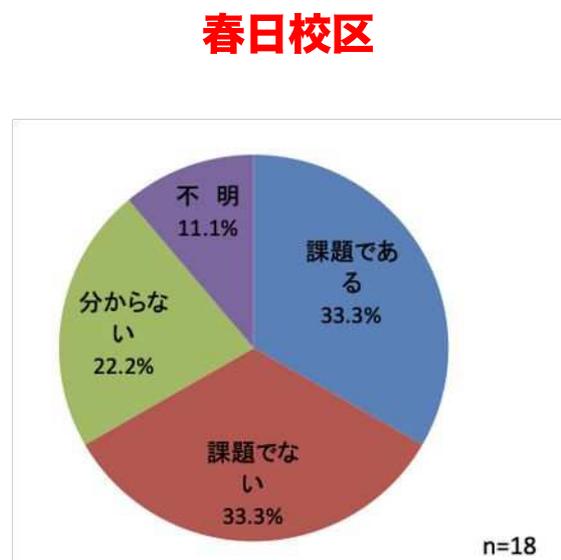
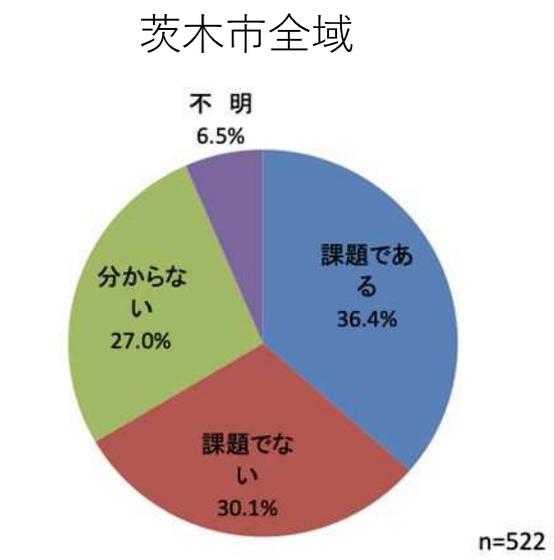
茨木市と春日校区の比較

問19 取り組んでいる課題 ③役員の負担が大きく、担い手がいない



茨木市と春日校区の比較

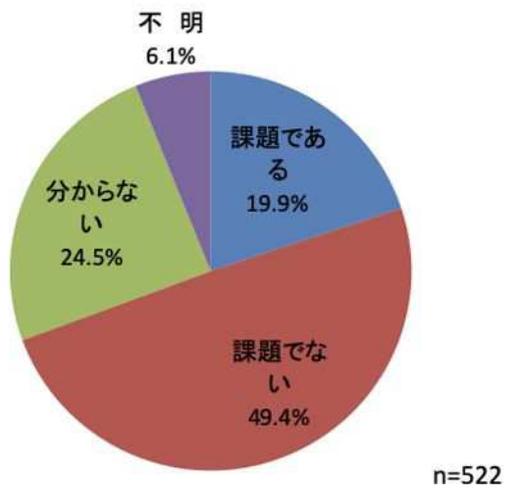
問19 取り組んでいる課題 ⑧地域活動がマンネリ化している



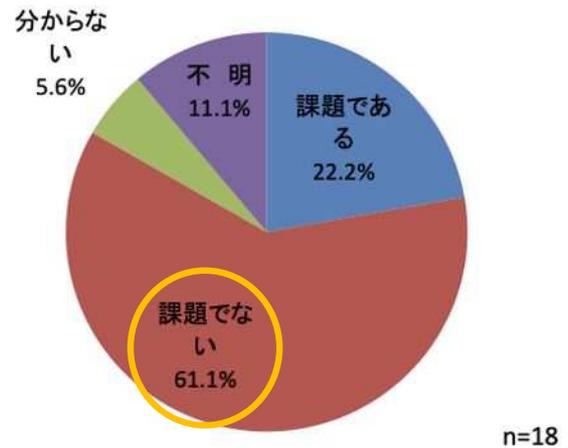
茨木市と春日校区の比較

問19 取り組んでいる課題 ⑨地域の各種団体や組織との連携・協力ができない

茨木市全域



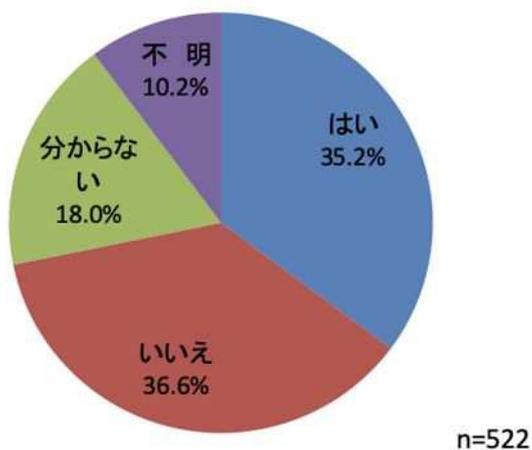
春日校区



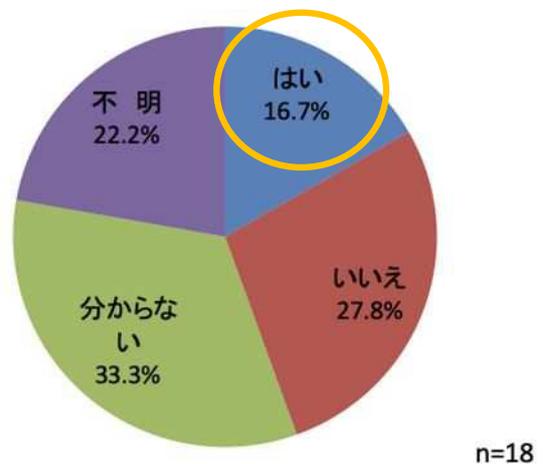
茨木市と春日校区の比較

問20 所属している地域組織の活動において、様々な年代の地域住民の方々が参加していただけるような工夫をされていますか。

茨木市全域



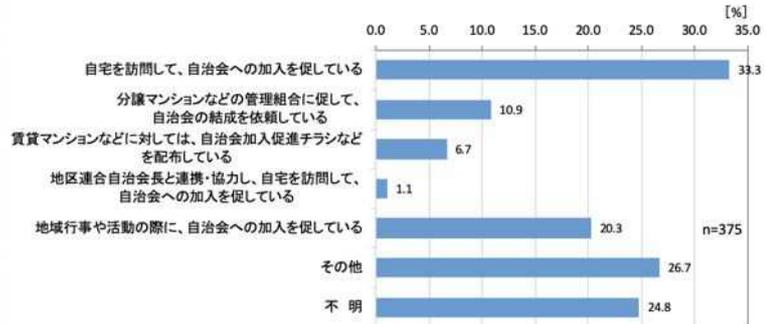
春日校区



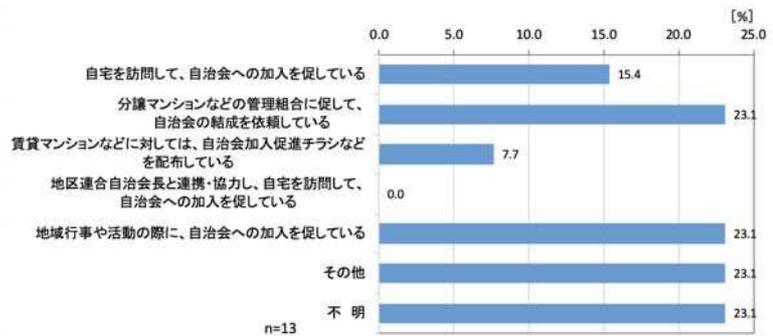
茨木市と春日校区の比較

問22 自治会の未加入者への加入促進として、どのような取組を行っていますか。

茨木市全域



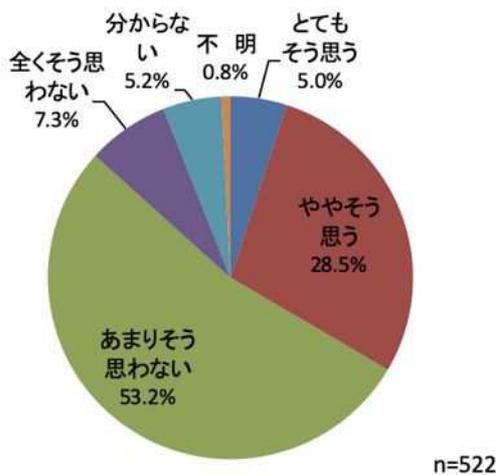
春日校区



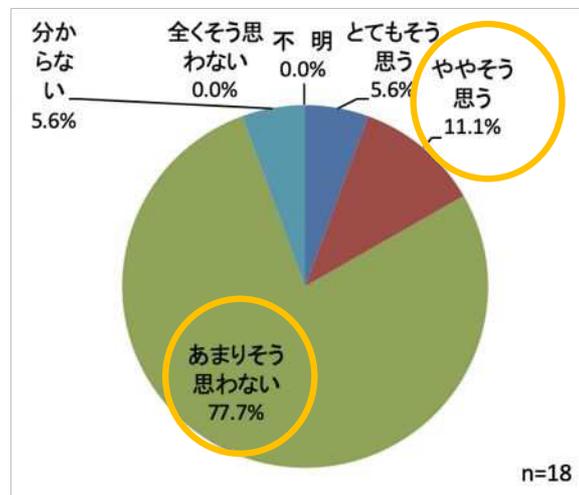
茨木市と春日校区の比較

問7 あなたは、地域住民が自ら地域づくりを進めようとする意識が高まっていると思いますか。

茨木市全域



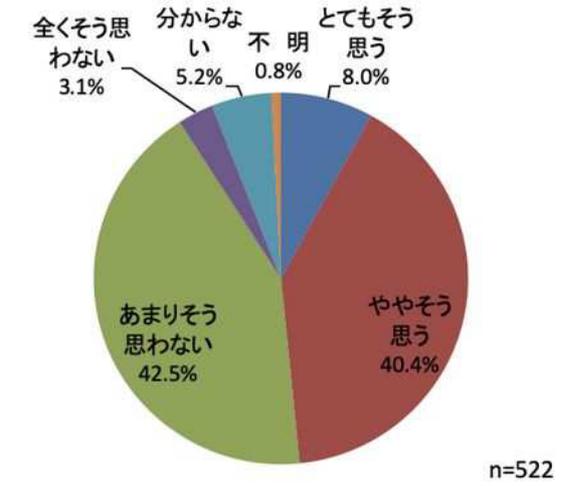
春日校区



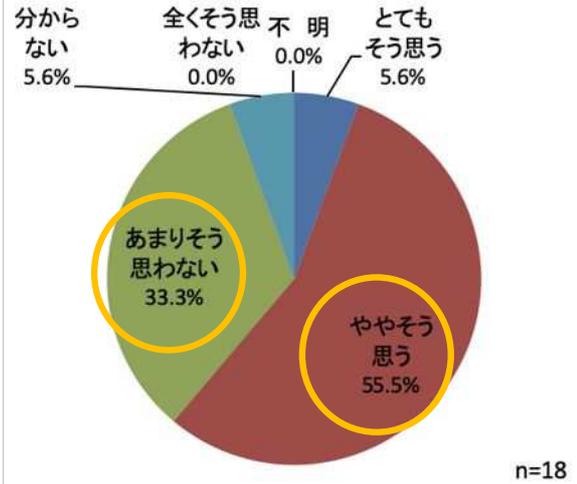
茨木市と春日校区の比較

問 6 あなたは、各地域組織の連携が進み、地域コミュニティが活性化していると思いますか。

茨木市全域



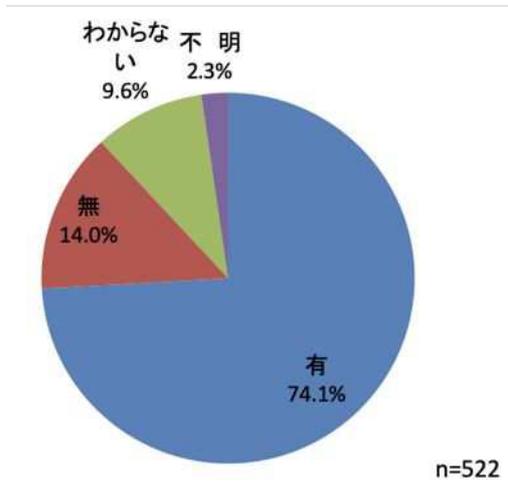
春日校区



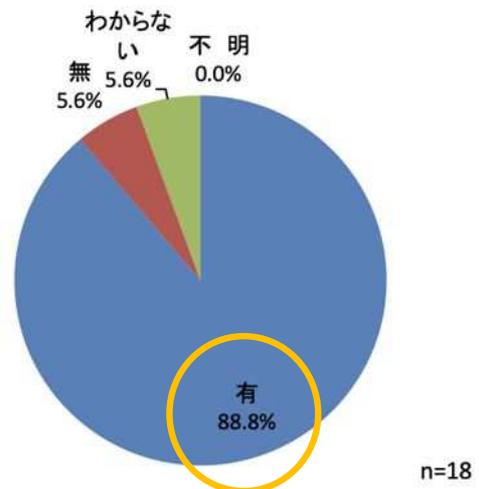
茨木市と春日校区の比較

問16-1 所属する組織の活動にあたり、他の団体や組織と連携・協働することはありますか。

茨木市全域



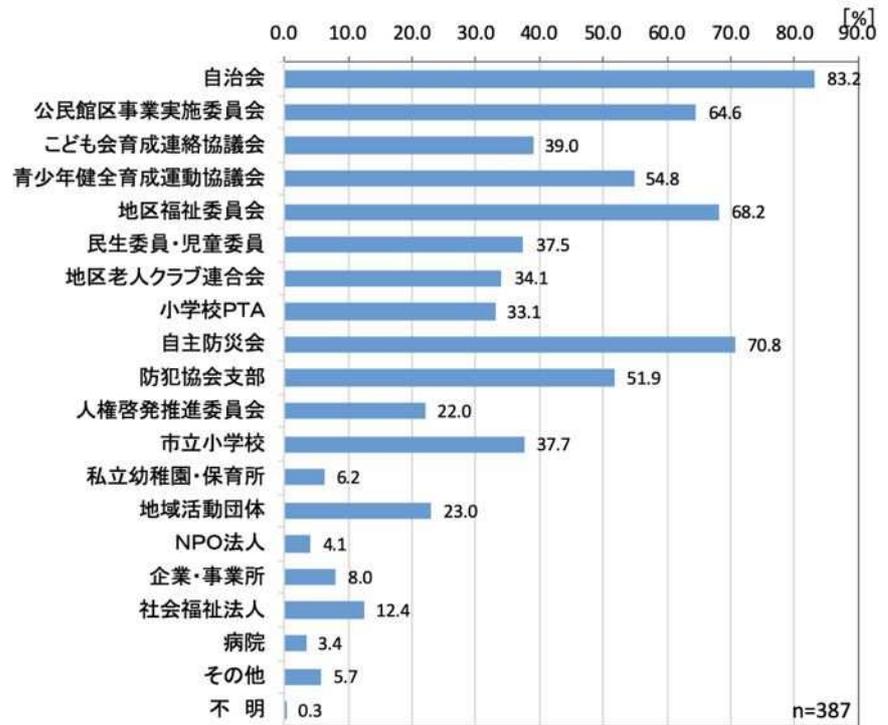
春日校区



茨木市と春日校区の比較

問16-2 どのような団体や組織と連携・協働していますか。

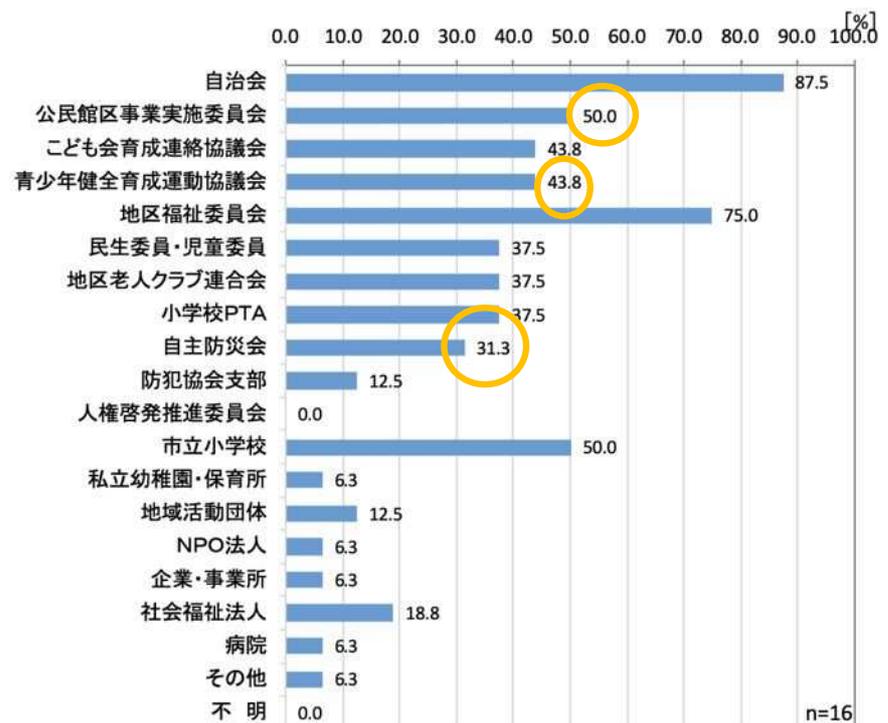
茨木市全域



茨木市と春日校区の比較

問16-2 どのような団体や組織と連携・協働していますか。

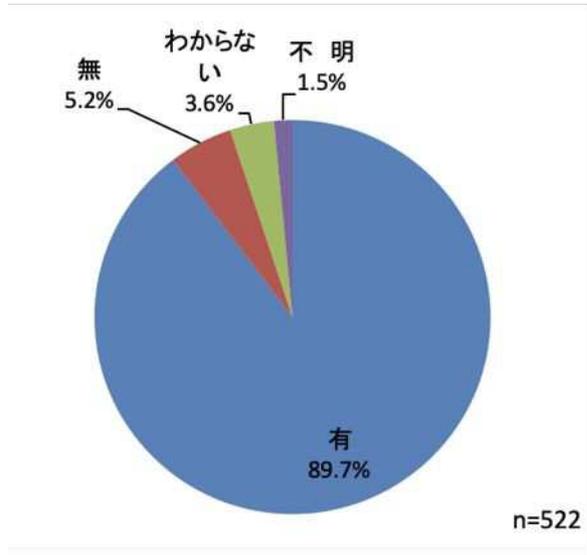
春日校区



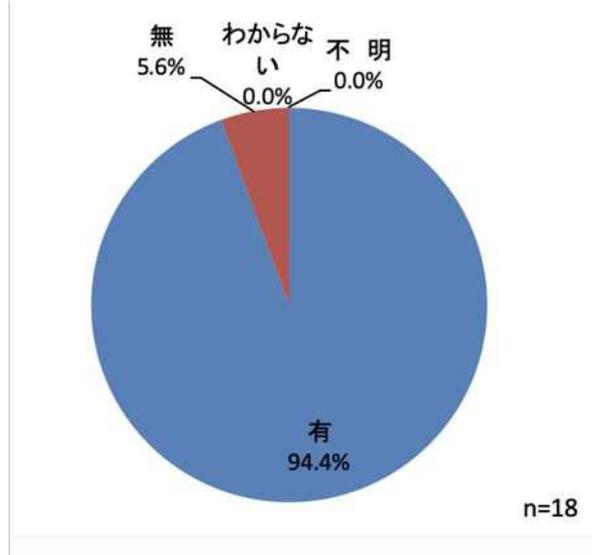
茨木市と春日校区の比較

問18-1 所属する組織の会員同士が話し合い、情報を共有する場はありますか。

茨木市全域



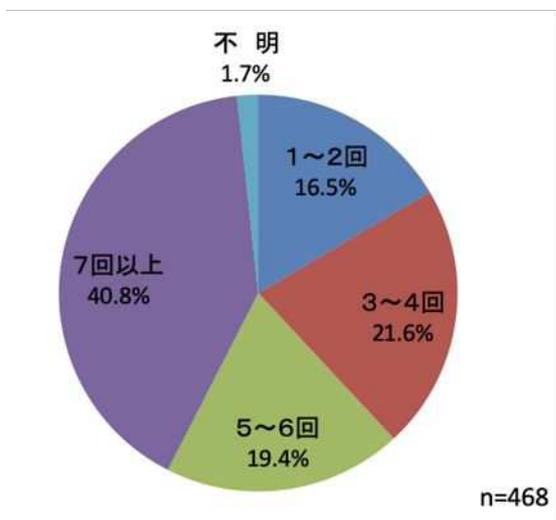
春日校区



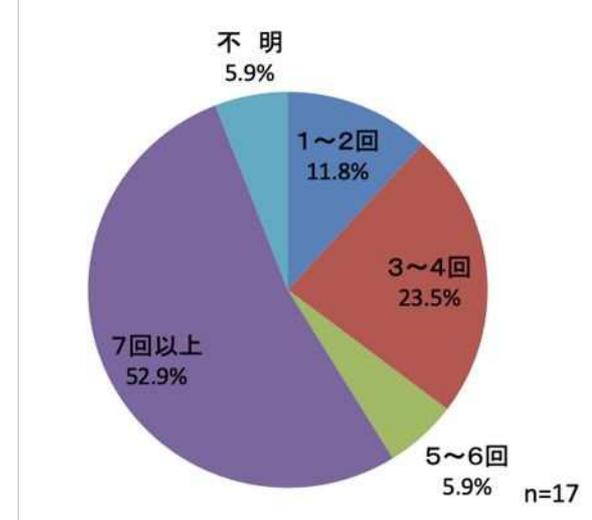
茨木市と春日校区の比較

問18-3 会員同士が話し合い、情報を共有する場は、年間、どの程度、開催していますか。

茨木市全域



春日校区



話し合いのエチケット

1. みんなの話は、まずは否定せずふむふむと聞きましょう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話しましょう
3. 思っていることは遠慮せずどんどん言いましょう
4. 一旦、肩書きは忘れましょう！
5. 相手を非難しないよう、尊重し合いましょう
6. 主体的に参加して、楽しみましょう！
7. **今日の意見はここだけ！**

話し合いのテーマ（1）

それぞれの作りたい未来を実現するために…

**ワクワクするような
面白い企画や仕組みの
アイデアを出し合いましょう**

話し合いのテーマ（2）

出てきたアイデアに
優先順位をつけてみましょう！

資金？

緊急度？

面白度？

時間？

何をもって優先とするかの基準は
各テーブルで話し合って決めてOKです！

みんなで共有タイム

次回のワークショップについて

日時：2019年12月20日（金）19時～21時

内容：本日出てきたアイデアから、
実際にやっていくことを決め、
具体的に方法を考えていきます！

お疲れ様でした！

お席のご案内

ご自由に お座りください。

途中で席を変えて3～4つの班に分かれて話し合いをします。

地域活動の活性化に向けたワークショップ（第3回目）

やりたいことの企画づくり

2019.12.20（金）19:00～21:00

本日の流れ

| 時間 | 内容 |
|--------|---------------|
| 19:00～ | ご挨拶と趣旨説明 |
| 19:15～ | テーブル内で自己紹介タイム |
| 19:25～ | グループワーク |
| 20:35～ | 各グループより発表 |
| 20:50～ | 事務連絡／閉会のご挨拶 |

ワークショップ開催の目的

春日校区の地域活動に取り組んでいる皆さんが、お互いのことを知り、これからの**“より良い校区づくり”**づくりに向けて思いを共有し、アイデアを出し合い、より良い春日校区の未来を作るための種をたくさん生み出す。

これからの春日校区を考えるきっかけ・機会にし、さらには自治会や各種団体が協働し、**より良い地域づくりを進める自治協議会**につなげていきたい

ワークショップは全3回！

| 日時 | テーマ | 内容 |
|------------------------------|-------------------------|--|
| 2019年 11/15(金) 19時～21時 | 【まちの論点を出し合う】 | 次の世代の春日校区をより良くする為に、困りごとや気になっていること、今後も残していきたいことやあった方がいいことなどを話し合います。 今の春日校区とこれからの春日校区について思いを巡らせましょう。 |
| 2019年 11/29(金) 19時～21時 | 【出てきたまちの論点からやりたいことを考える】 | 1回目に出てきたことをもとに、より良い春日校区にする為に何ができそうか、アイデアを出していきましょう。 実現可能かどうかより、ワクワクするかどうかを基準にアイデアを出していきましょう。 |
| 2019年 12/20(金) 19時～21時 | 【やりたいことを企画へ】 | 出てきたアイデアの種を整理し、どうすればできるようになるか、具体的な行動プランを考えてみましょう。 優先順位や緊急度合いを鑑みたり、これはどうしてもやりたい！という想いが強いアイデアを実現に向けて形にしていきましょう。 |

話し合いの前に...

前回の振り返り

作りたい春日校区の未来

(1)
誰もが面白い
ことにチャレ
ンジできる地
域にしたい！

(2)
もっと“災害に
強い”地域に
したい！

(3)
もっと関わり
やすい自治会
組織のある地
域にしたい！

(4)
世代を越えて
安心して
集える地域に
したい！



4つのテーマから3つのテーマを選び
話し合いをしました！

各テーブルで出てきた企画やアイデアのまとめ

テーマ：誰もが面白いことにチャレンジできる地域にしたい！

| カテゴリ | 出てきたアイデア |
|--------------------------------|---|
| 「地域を探検しよう！」 良さを発見する | ・ 地域の名所めぐり/街たんけん（ミステリーツアーなど）/校区内施設見学/郡山のみかん狩り/弁天さんの裏山の周遊や肝試し、クワガタ取り/夜のお寺巡り→夜の活用など、新しい魅力が発見できる/地藏盆の夏祭り/スタンブラリー |
| できること できたらいいこと | <上穂積公園に集まろう！～みんなのできる手軽さ> /地域でBBQ（BBQやキャンプファイヤーからの流れからみんなで楽しめるもの）/上穂積公園でキャンプ/学校のプールで魚釣り（プールを活用して魚を泳がせて釣ったり、つかんだり）/公園遊び <季節の中で高齢者も子どもも家族も参加> 秋祭り/子供みこし 練り歩き/お花見大会/地域清掃/田んぼ体験/重機体験（トラクター）/軽スポーツ大会（春日小学校）/大声で叫ぶ大会/地域でマラソンリレー（東海など街道を想定して） <ナイスなキーワード> 「春日の仲間たち」/地域や人とのつながりを意識するための「挨拶の日」/「〇〇の日」など |
| 誰もがやりたいことを やれるための 仕組みづくり | <どのような仕組みが良いか> 誰もが運営に参画できる/ここにすれば、おもしろいことをやっていると感じる、伝える/「みんなに」おもしろい情報が伝わる <どう作るか> 企画を募集する/地域の場所をつくる/「街かど掲示板」を作る。そこへ行けば誰もが見られる、掲示できる/紙媒体での回覧板 /紙媒体の設置先 スーパー、病院、各所掲示板も利用/地域ライブ（みんなで楽しめる） <次世代育成のためのアプローチ> 若者向けにSNSを活用/若者テーマのワークショップ/サイト回覧板、サイト掲示板/地域LINE 地域の友達グループ/中学生、高校生、大学生 巻き込み |

**すぐに取り組みたいこと・取り組めること
（優先順位）**

1. 広報によるつながれるモノを作る

誰もが運営に参画できる「場」「ツール（掲示板）」「SNS」など、一緒にやっていける方法を生み出す

2. 協力できる関係性

ツールを駆使して関係性を構築する。楽しいを共有できる関係性がイベントを成功させる

3. 次世代育成（若者の地域参加）

する世代だけでなく、若い世代を巻き込み、様々な世代が楽しめる地域をつくる

各テーブルで出てきた企画やアイデアのまとめ

テーマ：もっと市街に強い地域にしたい！世代を超えて安心して集える地域にしたい！

| カテゴリ | 出てきたアイデア |
|-----------------|---|
| より良い生活へ | ・ OTTAシステムの導入（子供の見守りや高齢者の安否確認） ・ 電子マネーまたは地域通貨の普及（高齢者の生活や災害時に安否の確認するための仕組みづくり） ・ 配達、個配業者が高齢者の異変に気付けるような仕組み ・ 徘徊する高齢者がわかるものを身につけて町ぐるみで助け合う |
| 集うための きっかけ作り | ・ 平時に顔見知りになっておくことができるよう、きっかけ作りのイベントの開催 （子どもの顔だけでなく、親の顔もわかるようにするなど） ・ 今実施している地域事業の中に防災を意識づけできる出し物を入れていく。 （子育て世代や中高生などの方々にもおもちづくりや炊き出しに最初から参加してもらうなど） ・ 防災体験教室（アウトドアの要素を盛り込んだり若い人が災害について話し合うことができる場） ・ 手作り市の復活 |
| 災害時への備え | ・ 中高生や大学生の力を災害時に活用（物資の運搬・避難誘導・簡単な応急手当など） ・ 若い世代に地域のなかで暮らしていることを意識づける ・ 学校と連携して地域活動へのボランティアの単位化 ・ 若い世代が主体となれるキャンプイベントを通じての災害時の啓発 （公園にあるベンチ型コンロの使用など） ・ 若い世代が災害時に活躍できるようにするための多世代のリーダーの育成 |

**すぐに取り組みたいこと・取り組めること
（優先順位）**

1. 部会の中に災害に備えたプロジェクトチームの立上げ・組織化（小規模でOK）

チームの役割を細分化し一人ひとりの負担を軽減させる。組織から災害に対する認識を広げていく

2. 防災・減災のための多世代リーダーの育成

年代ごとに防災/災害の訓練を受けた人を増やしていく。年代ごとにキーマンを作って行こう

各テーブルで出てきた企画やアイデアのまとめ

テーマ：もっと関わりやすい自治会のある地域にしたい！

| カテゴリ | 出てきたアイデア |
|----------------|---|
| 回覧板や掲示板のこと | <ul style="list-style-type: none">・子どもが持って行きたくくなるような回覧板があればいい・雨に強く、光る回覧板にすれば、子どもが持って行きたくなるのでは？ |
| 情報発信について | <ul style="list-style-type: none">・ローカルTVの様な発信をしてもいいかも（「春日チャンネル」の創設）・相談役を設ける事で、「やりたい人」や「やってほしい人」を繋げられる |
| 挨拶のこと | <ul style="list-style-type: none">・自治会のバッチみたいなのを作って、身につけている人は自治会の人って分かると挨拶しやすいかも・非常ベルが鳴った時、家から出てきた人と話せた。たまに鳴らしてみる？（防災訓練と連携？） |
| イベントのこと | <ul style="list-style-type: none">・近隣の大学生バンドにお願いしたり、お金をかけたりした方がいい・昼呑みやお散歩のイベントがあると素敵 |
| 役員のこと(自治会、PTA) | <ul style="list-style-type: none">・自治会加入のメリット(地域のお店の商品券が貰える情報など)があると、回覧板を受け取りたくなるかも・子ども会だけのイベント(映画鑑賞、ボーリング、クリスマス会)を開催する・やらなくてもいい期間(入ってから2年間など)をつくることで、人間関係が出来てきて、出来ることないかな？と意識が変わっていくかもしれない・役員免除期間(介護中など)があれば、辞めずに済む場合もある・役員手当があれば納得して取り組める人もいる |

すぐに取り組みたいこと・取り組めること
(優先順位)

1. 子どもも楽しく回したくなる新しい回覧板・掲示板づくり

雨に強く、光る回覧板・掲示板！

2. ローカルTV「春日チャンネル」の設置

年代ごとに防災/災害の訓練を受けた人を増やしていく。年代ごとにキーマンを作って行こう

3. 自治会に加わりやすい仕組みづくり(自治会役員免除期間・手当・昼呑みなど)

人間関係ができてから役をやれるような仕組みにしていく。

各テーブルで出てきた企画やアイデアのまとめ

テーマ：誰もが面白いことにチャレンジできる地域にしたい！

1. 広報によるつながれるモノを作る

2. 協力できる関係性

3. 次世代育成(若者の地域参加)

テーマ：もっと市街に強い地域にしたい！世代を超えて安心して集える地域にしたい！

4. 部会の中に災害に備えたプロジェクトチームの立上げ・組織化(小規模でOK)

5. 防災・減災のための多世代リーダーの育成

テーマ：もっと関わりやすい自治会のある地域にしたい！

6. 子どもも楽しく回したくなる新しい回覧板・掲示板づくり

7. ローカルTV「春日チャンネル」の設置

8. 自治会に加わりやすい仕組みづくり(役員免除期間・手当・昼呑みなど)



グループで話し合い！

話し合いのテーマ

それぞれの作りたい未来を実現するために…

**「やりたい！！！！」
の気持ちを大切にしながら、
具体的に・建設的に
どうやれば実現できるかを
話し合ってみましょう**

どのアイデアを実現に向けて 話し合ってみたいですか？

テーマ：誰もが面白いことにチャレンジできる地域にしたい！

1. 広報によるつながれるモノを作る
2. 協力できる関係性
3. 次世代育成（若者の地域参加）

テーマ：もっと市街に強い地域にしたい！世代を超えて安心して集える地域にしたい！

4. 部会の中に災害に備えたプロジェクトチームの立上げ・組織化（小規模でOK）
5. 防災・減災のための多世代リーダーの育成

テーマ：もっと関わりやすい自治会のある地域にしたい！

6. 子どもも楽しく回したくなる新しい回覧板・掲示板づくり
7. ローカルTV「春日チャンネル」の設置
8. 自治会に加わりやすい仕組みづくり（役員免除期間・手当・昼呑みなど）

今日はこれについて一番話したい！

**そう思ったテーマのところに
集まってください！**

話し合いたいテーマのテーブルに移動してください！

前のスクリーン

(1)
誰もが面白いこ
とにチャレンジ
できる地域にし
たい！

(2)
もっと“災害に強
い”地域にした
い！世代を超えて
安心して集える地
域にしたい！

(3)
もっと関わりや
すい自治会組織
のある地域にし
たい！

予備の
テーブル

話し合いのエチケット

1. みんなの話は、まずは否定せずふむふむと聞きましょう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話しましょう
3. 思っていることは遠慮せずどんどん言いましょう
4. 一旦、肩書きは忘れましょう！
5. 相手を非難しないよう、尊重し合いましょう
6. 主体的に参加して、楽しみましょう！
7. **今日の意見はここだけ！**

話し合いの進め方（1）

各テーブルのテーマから出てきたアイデアの中から、皆さんで話し合って、今日はどのアイデアについて話し合うか、一つのアイデアを選んでください！

話し合いの進め方（2）

選んだアイデアについて、具体的に・建設的にどのようにすれば実現できるか、話し合ってみましょう！

企画の参考例

防災×おもちゃ交換
「かえっこバザール」



高齢者の自主的な集いの場
「笑んがわ市」



防犯×ランニング
「パトラン」



話し合いのテーマ

それぞれの作りたい未来を実現するために…

**「やりたい！！！！」
の気持ちを大切にしながら、
具体的に・建設的に
どうやれば実現できるかを
話し合ってみましょう**

みんなで共有タイム

**ご自身の「次の一歩」を
共有してみましよう！**



お疲れ様でした！